

政策評価トピックス 第 55 号（2005 年 5 月 13 日）

・岩手県：県民参加型外部評価システム構築事業

岩手県では、これまで実施してきた評価体系とは別に、民間組織が県民の視点に立って評価する「県民参加型外部評価システム」を構築するため、評価者の公募を行っています。

評価の対象となる事業は、県民意識調査の結果、優先度の高かった保健・医療・福祉の連携（高齢者の介護など）と雇用（若年者の就職支援など）の二つの分野で、経費は 450 万円、応募できる団体は、県内に事務所を有する NPO 法人、公益法人、又はこれらの法人が複数で構成する団体とされています。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0212/seisaku/>

・栃木県：とちぎ 21 世紀プラン 2005 実行計画

栃木県では、本年 3 月に取りまとめた「16 年度政策マネジメント実施状況」の結果に基づいて 17 年度の実行計画を定めました。

五つの基本目標のうち、農業関係では、基本目標 3 の「知恵と技術の豊かな産業を伸ばす」の中に、活力のある担い手の育成、地域性豊かな農業生産の推進、消費者の視点を重視した流通対策の推進、環境と調和のとれた持続的な農業生産の推進、食と農を支える基盤づくりの五つの政策からなる「魅力ある首都圏農業を確立する」が立てられ、それぞれについて、基準年の数値、各年の実績値、17 年目標値と主な取組みが記されています。

http://www.pref.tochigi.jp/kikaku/ma/21plan_h17.html

・長野県：16 年度公共事業評価結果

長野県では、15 年度から、事業を評価して事業ごとの予算配分に反映させる「事業評価」と新規・継続箇所について評価する「個別箇所評価」を実施するとともに、完了箇所について同種事業の計画・調査のあり方に反映させるための「事後評価」を実施する評価体系を採用しています。

事業評価をみると、84 事業について評価が行われ、その結果、保安林整備など 3 事業が「拡大」、経営体育成基盤整備など 70 事業が「継続」、田園整備など 8 事業が「縮小」、3 事業が「統合」とされました。

<http://www.pref.nagano.jp/kikaku/hyouka/h16kokyo/h16jigyo3/h16gaiyou.htm>

・福井県：「福井元気宣言」実施状況

福井県では、知事の政策公約である「福井元気宣言」で、「元気な産業」、「元気な社会」、「元気な県土」、「元気な県政」の四つのビジョンを実現するために 10 の政策を実行していますが、このほど 2 年間の実施状況が公表されました。

「元気な産業」のうち、「豊かさを支える農林水産業」では、知事の在任中の 4 年間で達成すべき主な目標として、認定農業者数を 1.5 倍、県産食材を用いた給食を実施する学校を 3 倍、などを掲げ、この 2 年間で、認定農業者数は 1.2 倍に、一か月当たり県産食材を 10 品目以上使用した学校数は 127 校で、2 倍になったこと、などが報告されています。

<http://info.pref.fukui.jp/seiki/genkisengen.tyuukan.html>

・京都府：16 年度評価結果

京都府では、主要な事務事業（744 事業）と公共施設（8 施設）について各所管課が評価を行った結果を明らかにしました。所管課が定めた指標の目標値に対する達成率をみることになっています。農林水産関係では、「豊かな府民生活を実現する魅力ある農林水産業の展開」政策の全体の達成率（15 年度）は 46%ですが、認定農業者は 6%、新規就農者を受け入れている公社・法人数は 36%、京のブランド産品・ブランド畜産物販売額は 106%、荒茶製造額は－4%となり、達成率にバラツキが見られます。

<http://www.pref.kyoto.jp/hyoka/nendo1608/gaiyou.html>